みやこ町 歴史たんけんマップ

お宝

みやこ町文化遺産パンフレット

いろんなお宝を見て、ちょっと難しいクイズにも挑戦してみよう！

君も「みやこ博士」になれる！

みやこ町文化遺産活用実行委員会
2016.3

もっと、みやこ町の文化遺産について知りたい人は、みやこ町歴史民俗博物館に行ってみよう。

交通のご案内

- JR日豊線行橋駅より太陽交通バス「豊津支所」下車徒歩5分
- 平成筑豊鉄道新豊津駅下車徒歩20分
- 東九州自動車道「みやこ豊津」「今川スマート」各ICから車10分
- 国道10号線バイパス徳永交差点より車10分
- 国道201号線新町交差点より車15分

みやこ町の概要

総面積：151.34㎢
位置：東経130度55分14秒
北緯33度41分57秒
町の花：さくら
町の木：もみじ
町の鳥：うぐいす

［発行者］みやこ町文化遺産活用実行委員会
〒824-0192 福岡県京都郡みやこ町豊津1118
［お問合せ］みやこ町歴史民俗博物館
〒824-0121 福岡県京都郡みやこ町豊津1122-13
TEL.0930-33-4666

文化庁
このパンフレットは、平成27年度文化庁文化芸術振興費補助金（文化遺産を活かした地域活性化事業）により作成しました。

まずは、みやこ町のお宝を知ろう。

知ル

みやこ町のお宝ってなんだろう？

みやこ町にどんなお宝があるのかを知ることからはじめよう。
このマップでは、おもに次の4つのお宝について知ることができるぞ！

古墳　国府　国分寺　永沼家住宅

このマップで「みやこ町のお宝」とは：難しいことばで「文化財」といいます。昔の人がのこしてくれたもので、次の時代に伝えてゆくべきものとして大切にされているものです。

お宝1 古墳【こふん】

▲彦徳甲塚古墳（6世紀後半の円墳）

◀綾塚古墳（7世紀はじめの円墳）

古墳とは何だろう

古墳とは、今からおよそ1750年前から1400年前にたくさんつくられたお墓です。死んだ人をおさめるために「石室」とよばれる部屋をつくり、その上に土を高くもりあげて「墳丘」をつくりました。

古墳をつくった人

古墳は、その当時の王や豪族がつくりました。古墳の大きさや、死んだ人と一緒におさめられた品物（副葬品といいます）によって、古墳をつくった人の力の大きさが分かります。

古墳の形

古墳を上から見ると、丸いもの、四角いもの、そしてテルテル坊主のような形をしたものがあります。丸いものは円墳、四角いものは方墳、テルテル坊主のような形のものを前方後円墳といいます。

古墳って大昔のお墓なんだね！

みやこ町の大きな古墳

みやこ町には、分かっているだけで、1500以上の古墳があります。そのなかでも、とくに有名なのが写真の4つの古墳です。

▲橘塚古墳（6世紀後半の方墳）

▲甲塚方墳（6世紀後半の方墳）

お宝2 国府【こくふ】

空から見た豊前国府跡▶

国府とは何だろう

今から1300年前から800年ほど前、日本はおよそ60の国に分けられていました。それぞれの国には「国司」とよばれる長官が任命され、国司は「国庁」とよばれる役所で仕事をしました。その国庁の置かれた都市が「国府」です。みやこ町は「豊前国」の一部でしたが、豊前国の国府（豊前国府）は、みやこ町国作・惣社地区におかれました。

今でいうと…

国は都道府県、国司は知事、国庁は都道府県庁、国府は都道府県庁のおかれた都市ということになります。

どんな建物があったのかな

国府には、国司が仕事をする正殿と東脇殿・西脇殿などが左右対称に建てられていました。

発掘調査で出てきたもの

みやこ町国作・惣社地区にあった豊前国府のあとを調査したところ、中国から輸入された高級な焼き物など、ほかの場所ではめったに見つからないような、とても貴重な「お宝」がザクザク出てきました。それらのお宝は、みやこ町の博物館で展示しています。

▲「伊加知」（持ち主の名前?）の文字が書かれたお皿

お宝3 国分寺【こくぶんじ】

国分寺とは何だろう

天平13年（741）に出された聖武天皇の命令によって建てられたお寺です。当時の日本は、およそ60の国に分けられていましたが、その国ごとに建てられました。国分寺は男性のお坊さんのお寺ですが、女性のお坊さんのお寺「国分尼寺」も近くに建てられました。

なぜこの場所に建てられたのだろう

近くに豊前国の国府（今でいう都道府県庁のおかれた都市）があったことが大きな理由だと思われます。ただ、最近では、先に国分寺がこの場所に建てられ、そのあとに国府が別の場所から引越してきたという説もあります。

焼かれた国分寺

国分寺に伝わる言い伝えによると、戦国時代の終わりごろ、今からおよそ500年ほど前に、豊後国（現在の大分県）の大名・大友宗麟によって豊前国分寺は焼かれたといいます。

再建された国分寺

戦国時代が終わって江戸時代になると、国分寺の建物は少しずつ再建されました。現在の山門・鐘楼門・本堂は、どれも江戸時代に建てられたものです。

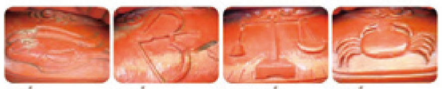
聖武天皇の命令で建てられたんだね〜

三重塔

国分寺が最初に建てられたとき（およそ1250年前）は、七重塔が建てられました。その塔がいつごろ無くなったのか分かりませんが、少なくとも江戸時代にはすでにありませんでした。明治29年（1896）、当時の国分寺の住職が一生懸命に寄附金などを集め、今の三重塔を建てました。

▲豊前国分寺　三重塔

三重塔には、星座が彫られているよ。自分の星座をみつけてください。


うお座　いて座　てんびん座　かに座

お宝4 永沼家住宅【ながぬまけじゅうたく】 庄屋さんの家

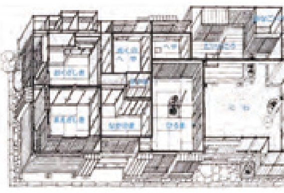
庄屋とは何だろう

江戸時代、年貢（税金）を集める仕事や、村人たちのお世話をして村をまとめた人です。簡単にいえば村長さんです。計算が得意で、また村人から信用される人でなければ、その役目はつとまりませんでした。

永沼家とは

永沼家は、数百年前からみやこ町犀川帆柱地区で中心的な役割をはたしてきたといいます。そして、江戸時代に入ってからは、帆柱村や近くの村々の庄屋などを代々つとめていました。

▲永沼家住宅


▲永沼家住宅　内部のようす

すごく大きな家だね〜

永沼家住宅が完成したのはいつだろう

永沼家は、天保10年（1839）から建てはじめ、天保12年（1841）に完成しました。当時の永沼家の主人は、永沼仁助という人でした。

永沼家住宅はどんな建物だろう

永沼家住宅の屋根は入母屋造りという形をしていて、瓦ではなく茅（ススキ）で屋根がつくられています。上からみた永沼家住宅の形は長方形で、幅はおよそ20メートル、奥行きはおよそ11メートルの大きさがあります。

お宝を見に行って、クイズに挑戦！

お宝は、おうちの人と見に行こう～

見ル

お宝の場所へ行ってみよう。
目の前で見てみると、きっと新しい発見があるぞ！

解ク

クイズを解いてみよう！うらがわに書かれた「知ル」をちゃんと読んでないと解けないぞ～

ちょっと難しいよ～ファイト！

8 彦徳甲塚古墳

［ けんどくかぶとづかこふん ］

つくられた年代と古墳のかたちは？

□ 世紀後半

の □ 墳

13 甲塚方墳

［ かぶとづかほうふん ］

つくられた年代と古墳のかたちは？

□ 世紀後半

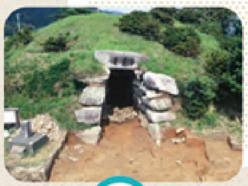
の □ 墳

みやこ町には、たくさんの古墳があるんだね

2 橘塚古墳

［ たちばなづかこふん ］

つくられた年代と古墳のかたちは？



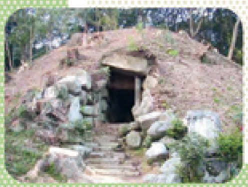
□ 世紀後半

の □ 墳

3 綾塚古墳

［ あやつかこふん ］

つくられた年代と古墳のかたちは？



□ 世紀はじめ

の □ 墳

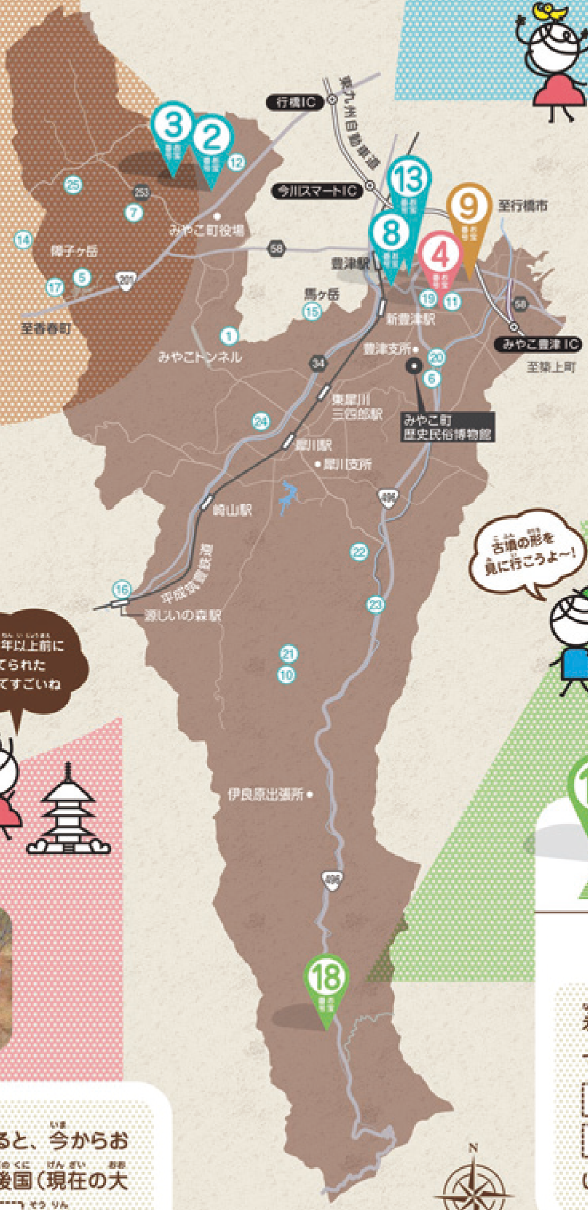
古墳の形を見に行こうよ～！

9 豊前国府跡

［ ぶぜんこくふあと ］

□ を埋めて文章を完成させよう。

1300年前から800年ほど前、日本はおよそ □ の国に分けられていました。みやこ町は □ の一部でした。それぞれの国には □ とよばれる長官が任命され、長官は □ とよばれる役所で仕事をしました。その役所の置かれた都市が □ です。



1000年以上前に建てられたなんてすごいね

4 豊前国分寺跡

［ ぶぜんこくぶんじあと ］

□ を埋めて文章を完成させよう。

国分寺は、天平13年（741）に出された □ の命令によって建てられたお寺です。国分寺は男性のお坊さんのお寺ですが、女性のお坊さんのお寺 □ も近くに建てられました。

国分寺に伝わる言い伝えによると、今からおよそ500年ほど前に、豊後国（現在の大分県）の大名 □ 宗麟によって豊前国分寺は焼かれたと言います。

お友達にクイズが出せるくらい詳しくなったらカッコイイぞ～！

国分寺が最初に建てられたとき（およそ1250年前）は、□ 塔が建てられました。その塔がいつごろ無くなったのか分かりませんが、少なくとも江戸時代にはすでにありませんでした。明治 □ 年（1896）、当時の国分寺の住職が一生懸命に寄附金などを集め、今の三重塔を建てました。三重塔には、□ が彫られています。

18 永沼家住宅

［ ながぬまけじゅうたく ］

□ を埋めて文章を完成させよう。

永沼家住宅は、天保 □ 年（1839）から建てはじめ、天保 □ 年（1841）に完成した □ さんの家です。永沼家住宅の屋根は □ 造りという形をしています。

まだまだこんなにあるよ！みやこ町のお宝

史跡

1. 御所ヶ谷神籠石
2. 橘塚古墳
3. 綾塚古墳
4. 豊前国分寺跡
5. 菩提廃寺跡
6. 上坂廃寺跡
7. 扇八幡古墳
8. 彦徳甲塚古墳
9. 豊前国府跡
10. 蔵持山修験道遺跡
11. 豊前国分尼寺跡
12. 庄屋塚古墳
13. 甲塚方墳
14. 障子ヶ岳城跡
15. 馬ヶ岳城跡

蔵持山修験道遺跡

登録文化財

16. 石坂トンネル（第2隧道）
17. 仲哀隧道

石坂トンネル

仲哀隧道

有形文化財

18. 永沼家住宅
19. 三重塔（国分寺）
20. 旧制福岡県立豊津中学校講堂「思永館」

講堂「思永館」

天然記念物

21. 蔵持の大杉
22. 木井神社のイチイガシ
23. 木井馬場のムクノキ
24. 生立八幡宮の大楠
25. 千女房のヤマザクラ

蔵持の大杉

千女房のヤマザクラ

この他にも、まだまだたくさんのお宝がみやこ町にはあるよ。みやこ町歴史民俗博物館で学芸員さんに尋ねてみよう！

つくってみよう！お宝俳句

みやこ町のお宝（文化財）をテーマに俳句をつくってみよう。
俳句は五七五の17文字でつくる日本の伝統的な詩だよ。
季節を感じさせることばが入ると100点だ！

おとなに負けない俳句をつくるぞ～

〈俳句記入欄〉太枠のなかに記入してください。

【お宝俳句の例】
梅咲いて　春風かおる　国分寺

季節を感じることばか～